

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和つきみ野1丁目新築工事	階数	地上14F
建設地	大和つきみ野一丁目6-2	構造	RC造
用途地域	準工業地域、無指定	平均居住人員	2,416 人
地域区分	6地域	年間使用時間	28,992 時間/年(想定値)
建物用途	学校,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2018年9月21日
敷地面積	20,662 m ²	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	5,848 m ²	確認日	2018年9月21日
延床面積	48,409 m ²	確認者	(株)長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。		その他
Q1 室内環境 ・戸境壁は木軸下地二重壁を採用してDr値50を目標値として設定。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	Q2 サービス性能 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得予定。 ・各住戸に1Gbitクラスのブロードバンドが利用可能。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー ・住宅性能表示基準断熱等性能等級4を取得予定。 ・潜熱回収型給湯器を採用。 ・LED照明設備を採用。	LR2 資源・マテリアル 二重壁・二重天井を採用し、資源の再利用に配慮している。	LR3 敷地外環境 ディスポーザーシステムを採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される